

令和5年度

# 校長室だより3月号 No.11

宝達志水町立押水第一小学校 R6.3.1

## 令和5年度最後の月を迎えました

いよいよ今年度最後の月、3月に入ります。2月4日の立春以降、少しずつ暖かく感じられる日が増えてきて、校庭の木々の芽も膨らみ始めてきました。日一日と春へ向かって季節が進んでいることを感じます。

3月は1年間のまとめの時期です。今年度も押水第一小学校の子どもたちは日々の学習や活動、取組を通して大きく成長したと感じております。そしてその成長には、一人一人の頑張りや努力、そしてそれを支えてくださったたくさんの人の励ましがあったからこそと思っています。どうかご家庭でも、進学や進級を前に1年間をふり返り、お子様の成長を一緒に喜んでいただけたらと思います。

そして、3月はお別れの月でもあります。今年度、押水第一小学校を卒業していく12名の6年生は、学習面・生活面ともに素晴らしく、最上級生としてお手本となる姿を常に示しながら、下級生によい影響を与えてくれました。いくつかその例を紹介します。

### ○礼儀正しいあいさつ

はっきりとしたよく通る声で、目を合わせて丁寧にあいさつをしてくれます。来校されたお客様にも、明るい声で率先してあいさつをされていて気持ちがよくなります。

### ○全体での集合時の姿

おしゃべりがなく、聞く姿勢が自然とできています。集会で話す時など、6年生の方へ視線を向けると全員の顔が上がっていて、とても話しやすいです。その良い影響が学校全体に広がっています。

### ○本番に見せる集中力

毎日の授業はもちろん、行事や各種発表など、本番に見せる本気の姿と集中力には目を見張ります。見る人が感動するパワーを秘めています。

今年度の卒業式は3月15日(金)で、これから本格的に卒業式に向けた練習が始まります。下級生は、6年生の「声」「姿勢」「集中力」に注目します。6年生には、練習・本番を通して、会場となる体育館の後方に座っている下級生に、是非その素晴らしい姿を背中で教えてあげてほしいです。

そして今年度1年間、学校全体のリーダーとして「主体性」をもって引っ張ってくれた6年生、本当にありがとう。

また、保護者・地域の皆様には、今年度も本校の教育活動に多大なご理解とご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



## 6年生を送る会

2月22日、「6年生を送る会」がありました。これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようという1年生から5年生の一生懸命な思いが伝わってきました。そしてその思いをしっかりと受け止め、下級生の頑張りにあたたかな視線を送っていた6年生の真摯な姿がとても素敵でした。

4年生は、国語の教材の「ごんぎつね」を題材に音楽劇をしました。リコーダー演奏を交えながら、国語で学習した主人公「ごん」の心情を思い浮かべて台詞を言ったり、歌を歌ったりして、とでも見応えのある劇に仕上がっていました。また、出し物の最後に披露したボディパーカッション「アラベスク」は、6年生もかつて学習した曲で、懐かしそうに曲を聴きながらボディパーカッションに見入っていました。4年生の堂々とした発表ぶりは、来年度高学年に進級するに相応しいものでした。



1年生は、小学校に入学したこの1年間に勉強してきたことを、思い出をふり返る形で発表しました。「国語では言葉集めをしたね」「長いお話も読めるようになったよ」「算数では数の勉強をしたね」「計算もスラスラになったよ」等々、身振り手振りを入れながら楽しくお話してくれました。6年生も自分が1年生だった頃を思い出していたのではないのでしょうか。最後は音楽の時間に習った「ゆめのタネ」を元気よく歌いました。1年生は入学してから6年生にたくさん遊んでもらいました。その6年生の前でしっかりと発表できてとても満足そうでした。



2・3年生は、「ドキドキドン！中学生」と題して、6年生が過ごしたこの6年間をスライド写真も交えながら発表しました。「ドッキドキドン〇年生！」とその年その年の印象的な出来事を寸劇やクイズなどを交えて紹介していきました。6年生が「ドッキドキドン4年生」の時に6年生を送る会で踊った「つばめ」を紹介したときは、曲に合わせて身体を動かしていた6年生もいました。最後の「ドッキドキドン中学生」では、2・3年生が6年生へ、中学校進学に向けてのエールを送り、6年生はそれをしっかりと受け止めていました。



来年度、押水第一小学校の最高学年を引き継ぐ5年生は「思い出をふりかえろう」として、今年度、最高学年として学校全体を引っ張ってってくれた6年生への感謝の気持ちを込めた劇をしました。特に「運動会の応援合戦」と「鼓隊演奏」の場面では、おもしろおかしくコント仕立てで構成し、会場を盛り上げていました。下級生に優しく、そして相手の立場に立って工夫しながら粘り強く教えてくれた6年生の姿から、学校のリーダーとしてとても大事なことを5年生は学び取ることができたように思います。今回の「6年生を送る会」の全体運営もしっかりと務めてくれました。現6年生の思いを引き継ぎ、次年度の最高学年として立派なリーダーになってくれるものと期待しています。



そして6年生。脚本、演出、練習、すべて6年生たちが自分自身だけで作り上げた「なかえもん～のび太の成長伸びすぎた～」です。言うまでもなく、アニメ「ドラえもん」をモチーフにした劇です。今年度の6年生12名は、お互いにとても仲が良く、学級はいつもあたたかな雰囲気に包まれています。今回披露した劇でも、その仲の良さ、チームワークを発揮して、とても素敵な劇に仕上げていました。劇の内容は「ドラえもんがのび太の成長のためにのび太から離れ、のび太はドラえもんの力を借りることなく頑張っていく」というものですが、6年生はこの劇に「ドラえもんがのび太を支えていたように、自分たちを支えてくれた学校支援ボランティア等の方々への感謝」そして「中学校生活を自分自身の力で充実させていきたいという決意」を込めているように感じました。



どの学年も、それぞれの学年のよさを発揮し、6年生と下級生がお互いに思いやっているととても素晴らしい「6年生を送る会」になりました。

## 3学期の学校の様子

### 深い学び講座（5・6年 3校合同）



### 夢の木応援キャンペーン



### 調理員さんへの1年間の感謝の手紙



### 次年度新1年生への学校紹介ビデオ撮影



### クラブ活動見学

